JCA-NET セミナー：データ搾取と闘う。プライバシーインターナショナルの紹介

今回は、英国に拠点を置くプライバシー・インターナショナル(PI)の活動を紹介します。1990年に設立された非常にアクティブで影響力の大きな団体です。ウエッブで活動の目的を「政府や企業は、テクノロジーを使って私たちを搾取しています。彼らの権力の乱用は、私たちの自由と、私たちを人間らしくしているものそのものを脅かしています」と述べ、「1990年以来、PIは世界中でプライバシーの権利を促進するために活動してきました。具体的には、プライバシーに対する脅威に対する認識を高め、監視の手法と戦術を監視し報告し、プライバシー保護の提供に向けて国および国際レベルで活動し、プライバシー保護の措置を監視し、テクノロジーを通じて個人情報を保護する方法を模索しています」と、その活動の目的を述べています。

多くのキャンペーンも手がけています。

対企業キャンペーン

https://privacyinternational.org/campaigns/targeting-companies

対政府キャンペーン

https://privacyinternational.org/campaigns/targeting-governments

英国は米国とともにグローバルな監視テクノロジーについて、重要な役割を果しており、PIの活動も多岐にわたります。最近の活動を紹介しながら、インターネットで起きているグローバルな問題を通じて、日本での取り組みで必要なことは何なのか、についても皆さんと議論します。

SIGN UP TO NEWSLETTER
SEARCH
NEWS
ACT
CAMPAIGNS
LEARN
IMPACT
ABOUT
DONATE
WATCHING
MIGRANTS
24/7
NEWS & ANALYSIS
Shining a light on the hostile environment
Privacy International, Migrants Organise and Bail For Immigration Detainees joined forces to shine a light on the plight of migrants in the UK who are subject to hardline and dehumanising Home Office policies such as being monitored via GPS tags 24/7.

FEATURED CONTENT

Privacy and the Body: Privacy International's response to the U.S. Supreme Court's attack on reproductive rights

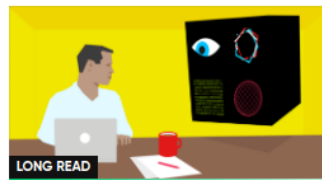
The right to privacy encompasses bodily autonomy and the right to access safe abortion care. In light of the recent decision of the United States' Supreme Court in ***Dobbs* v *Jackson Women's Health***, we at Privacy International (PI) wanted to examine how the right to privacy has evolved around the world and in the U.S.

CONTINUE READING

Privacy and Sexual and Reproductive Health in the Post-Roe world

Concerning news from the US about the restriction of the right to abortion have made many reconsider their engagement with platforms processing health data. Here, we provide an overview of our research findings on the intersection of privacy and sexual and reproductive health.

CONTINUE READING

Emergency Social Protection responses to Covid-19 around

WFH - Watched from Home: Office 365 and workplace

Violence at the EU's borders: Tech and surveillance in

Free to Protest (Colombia edition)

FEATURED GUIDES

Protect yourself from online tracking

Online tracking is a widespread practice with questionnable ethics and legal backing. Learn how to limit your data from being collected unwillingly and disrupt the tracking industry!

READ MORE

A guide for migrants and asylum rights organisations about privacy settings

This guide is for anyone concerned about their social media accounts being monitored by public authorities, but it's especially targeted at people from minority and migrant communities who may be disproportionately affected by various forms of surveillance. **READ MORE**

FEATURED LEARNING TOPICS

SOCIAL MEDIA SURVEILLANCE

The data generated through peoples' use of social media becomes valuable intelligence to others, who want to monitor, profile, and manipulate. **READ MORE**

MASS SURVEILLANCE

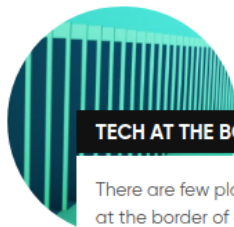
Mass surveillance can subject a population or significant component thereof to indiscriminate monitoring, involving a systematic interference with people's right to privacy and all the rights that privacy enables, including the freedom to express yourself and to protest. **READ MORE**

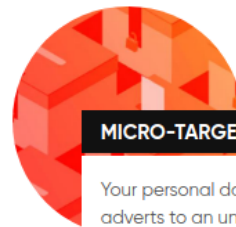
ADTECH

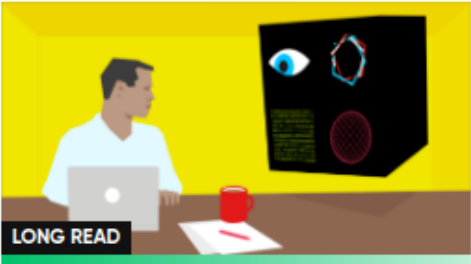
AdTech - short for advertisement technology - is a catch-all term that describes tools and services that connect advertisers with target audiences and publishers. It's a multi-billion-dollar industry that is facing investigations by Data Protection Authorities globally and complaints by

READ MORE

HEALTH TECH IN SEXUAL AND REPRODUCTIVE RIGHTS

Reproductive rights are necessary for bodily autonomy. Bodily autonomy is necessary for equality. **READ MORE**

TECH AT THE BORDER

There are few places in the world where an individual is as vulnerable as at the border of a foreign country. **READ MORE**

MICRO-TARGETING

Your personal data could be used to target you with information and adverts to an unprecedented degree of personalisation. **READ MORE**

JCA-NET セミナー：データ搾取と闘う。プライバシーインターナショナルの紹介

目的

政府や企業は、テクノロジーを使って私たちを搾取しています。彼らの権力の乱用は、私たちの自由と、私たちを人間らしくしているものそのものを脅かしています。

だからこそPIは、民主主義を守り、人々の尊厳を守り、国民の信頼に背く組織に説明責任を求めるために存在するのです。

歴史

1990年以来、PIは世界中でプライバシーの権利を促進するために労働と仕事を続けています。

1990年以来、PIは世界中でプライバシーの権利を促進するために活動してきました。具体的には、プライバシーへの脅威に対する意識を高め、監視の手法や戦術を監視し報告し、プライバシー保護の提供に向けて国家レベル、国際レベルで働きかけ、プライバシー保護の方策を監視し、テクノロジーを通じて個人情報を保護する方法を模索しています。

JCA-NET セミナー：データ搾取と闘う。プライバシーインターナショナルの紹介

主な活動領域

● グローバルな展開

プライバシー擁護者と研究者の国際的なネットワークを構成する、世界各国の市民社会のパートナーを支援しています。私たちは共に、法律とテクノロジーに関する専門知識を構築し、地域の発展を調査し、変化を提唱しています。

私たちはまた、国際的な場でも闘っています。私たちは、米州およびアフリカのシステム、欧州評議会、欧州議会、国連のような地域および国際的な規制や人権団体において、強力な基準を提唱しています。脆弱な人々は、プライバシーを妨害され、場合によっては侵害されることによって、より脆弱になります。だからこそ、私たちは人道的セクターにおける保護を要求する

● 国際的なネットワーク

すべての人のプライバシーの権利を守るために、あらゆる場所で闘っています。人々は、国籍、人種、民族、経済的地位、性別、年齢、教育などに関係なく、プライバシー保護にアクセスできなければなりません。

2008年以来、プライバシー・インターナショナルは、プライバシー保護団体の国際的なネットワークをリードしてきました。私たちは、世界的な運動の発展と持続可能性を支援するための教育資料、アドボカシーキャンペーン、戦略を生み出すために、私たちの新たな専門知識と調査を活用しています。

JCA-NET セミナー：データ搾取と闘う。プライバシーインターナショナルの紹介

アプローチ

プライバシーの保護には、リサーチ、プライバシーに対する脅威と侵害の調査、そして法律とテクノロジーの両方を重視したアドボカシーのための戦略が必要です。最も重要なことは、これを実現するために、私たちはすべての利害関係者とともに、学際的な方法で仕事をすること

資金提供者

Sida，デモンクラシーと人権のためのユニット

IĐRC，イノベーション＆ネットワークユニット

フォード財団（Internet Freedoms

JCA-NET セミナー：データ搾取と闘う。プライバシーインターナショナルの紹介

パートナー団体

Middle East and Northern Africa

- 7amleh
- 7iber
- SMEX
- Europe
- ApTI
- Statewatch

Latin America

- Asociación por los Derechos Civiles
- Coding Rights
- Datos Protegidos
- Dejusticia
- Derechos Digitales
- Fundación Karisma
- Hiperderecho
- InternetLab
- IPANDETEC
- Red en Defensa de los Derechos Digitales
- TEDIC

Africa

- Centre for Intellectual Property and Information Technology Law
- Defenders Coalition
- Kenya Legal & Ethical Issues Network on HIV and AIDS
- Right2Know Campaign
- Unwanted Witness

Asia

- Centre for Internet and Society
- Digital Rights Foundation
- Foundation for Media Alternatives
- The Institute for Policy Research and Advocacy (ELSAM)

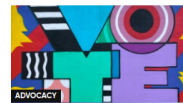
(PI) データと選挙

Data and Elections

Democratic society is under threat from a range of players exploiting our data in ways which are often hidden and unaccountable.

Personal data plays a fundamental role in this emerging way of influencing democratic processes. Through the amassing and processing of vast amounts of data, individuals are profiled based on their stated or inferred political views, preferences, and characteristics. These profiles are then used to target individuals with news, disinformation, political messages, and many other forms of content aimed at influencing and potentially manipulating their views.

FEATURED CONTENT

ADVOCACY

PI welcomes new guidelines by the Council of Europe on the use of personal data in political

The UK Government should drop plans for compulsory ID presentation at the polling

The UN Report on Disinformation: a role for privacy

The Right to Privacy in Paraguay

PI submitted with TEDIC a joint stakeholder

民主主義社会は、しばしば隠蔽され説明のつかない方法で私たちのデータを搾取する様々なプレイヤーの脅威にさらされている。

個人データは、民主主義のプロセスに影響を与えるこの新たな手段において、重要な役割を担っている。膨大な量のデータの収集と処理を通じて、個人はその発言または推測される政治的見解、傾向、特徴に基づいてプロファイリングされる。これらのプロファイルは、ニュース、偽情報、政治的メッセージ、その他多くのコンテンツで個人をターゲットにし、その意見に影響を与え、潜在的に彼らを操ることを目的として使用される。

https://privacyinternational.org/taxonomy/term/848

(PI) データと選挙

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/data-and-elections_jp/

民主的な活動は、選挙運動から選挙結果の送信まで、デジタル技術を介して行われることが多くなっています。これらの技術は、個人情報の収集、保存、分析に依存しています。これらの技術は、個人情報の収集、保存、分析に依存しており、選挙に関わるすべての関係者に、いかにして個人情報を悪用から守るかという新たな問題と課題を提起しています。

選挙の目的は投票だけではなく、選挙サイクル全体がデータに依存するようになってきています。有権者登録、有権者認証、投票、結果の送信のすべてに、少なくともいくつかの個人データの収集が含まれています。政党は、どこで集会を開くか、どの地域でどのキャンペーンメッセージに重点を置くか、ソーシャルメディア上の広告を含め、支持者、未決定の有権者、非支持者をどのようにターゲットにするかなど、選挙活動を推進するためにデータに依存しています。

したがって、選挙期間中のデータの不正利用は、民主主義の基本的なプロセスを損なう危険性があります。

(PI) データと選挙

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/data-and-elections_jp/

何が問題なのか？

私たちの民主主義制度は、今日、脅威にさらされており、将来にわたって不安定化させるための基盤が作られつつあります。民間、政治、国家のアクターが、民主主義の結果を操作したり、民主主義の制度やプロセスに対する信頼を失墜させる環境を作り出しています。このような脅威の高まりのなかでのデータ搾取が果たす役割を理解するため、法律や規制の施行、技術や業界の行動変化、そしての専門家の協力が必要です。

個人データは、民主主義のプロセスに影響を与えようとする新たな方法の中心となるものです。膨大な量のデータを収集・処理することで、個人は、表明した政治的見解、嗜好、特徴や推測に基づいてプロファイリングされます。これらのプロファイルは、ニュース、偽情報、政治的メッセージなど、潜在的に個人の見解に影響を与え、操作することを目的としたさまざまな形態のコンテンツによって個人をターゲットにするために使用されます。このようなキャンペーン環境では、利用可能なデータの規模や範囲、プロファイリングやターゲティングの技術の多さ、複雑さ、速さなど、新たな課題が生じます。このような環境は、不透明であることが特徴です。既存の法的枠組みは、このような悪用を抑制するには実質的にも執行面でも不十分であることが多い。

(PI) データと選挙

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/data-and-elections_jp/

何が問題なのか？(続)

最近の議論では、選挙関連のデジタルコミュニケーションの内容、例えば「フェイクニュース」や偽情報、特にソーシャルメディア上で見られる政治的な広告やメッセージなどに注目が集まっています。 PIでは、「カーテンの向こう側」にあるもの、つまり、あなたについてどのようなデータが収集され、推論された結果、あなたがこのコンテンツを目にすることになったのかに関心をもっています。これをビジネスモデルとしている企業は、そのサービスを購入している政党と同様に、暴露され、精査される必要があります。

さらに、選挙を行うためのテクノロジーの展開も精査する必要があります。バイオメトリクスによる有権者登録、認証、結果の送信システムは、導入コストが高く、複雑なものが多い。テクノロジーが実際にどのように機能するのか、現実的に何ができるのか、その使用によってどのような問題を解決しようとしているのかについて、調達を透明化し、俗説を打ち破る必要があります。テクノロジーは、選挙や民主主義プロセスへの信頼を弱めるものではなく、強化するものでなければなりません。

国際的な選挙監視団は、民主的な選挙におけるすべての主要な関係者が使用する個人データとデジタル技術の役割を考慮することをますます求められています。これは簡単なことではありません。既存の選挙監視員の方法論を更新し、新たな技術的スキルを身につける必要があります。

(PI) データと選挙

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/data-and-elections_jp/

解決策は何か？

私たちは、現在および将来のデジタルキャンペーンの変化を反映した、効果的な保護措置を必要としています。また、政府、規制当局、プラットフォーム、政党など、世界中の関係者が、現在の底辺への競争に対抗するための対策を講じることが必要です。以下が、その出発点となります。

- 政治キャンペーン、広告主、プラットフォームなど、すべての関係者が、データ収集の方法、データの使用方法、特にプロファイリング、そしてそのプロファイリングを利用したメッセージ配信の方法について、より多くの情報を開示する必要があります。この透明性は、政治運動がどのように行われているのか、誰と協力しているのか、どのようなツールを使用しているのか、データの取り扱いについて理解し、適切な制限を設けるために不可欠です。
- 透明性は、ユーザーや有権者にとっても、規制当局や研究者にとっても必要。オンラインおよびオフラインの広告はすべて公開され、誰が何を受け取ったのか、なぜ受け取ったのかといった詳細な情報とともに、簡単に検索できるようにすべきです。
- 包括的なデータ保護法を実施・施行し、政治キャンペーンが利用できる抜け道を塞がなければなりません。データ保護当局は、政治運動におけるデータの使用について、拘束力のある強制的なガイダンスを発行すべきです。
- 選挙法は、デジタル時代に合わせて更新する必要があります。これには、デジタル政治運動が厳格な選挙期間外に行われることを反映すること、選挙資金と広告に関する詳細かつタイムリーな報告を選挙管理当局に求めることなどが含まれます。
- 法的枠組みは、効果的な救済 (個人および集団) と意味のある制裁を提供しなければなりません。
- 規制当局は、十分な独立性と、法律を執行するための適切なリソース (技術的、人的、財政的) を有していなければなりません。規制当局は、国内および国際レベルのカウンターパートと協力する必要があります。
- 選挙監視員は、個人データとデジタル技術が、民主的プロセスへの参加と自由で公正な選挙の実施を損なうのではなく、支援するために使用されることを保証するために、作業方法を更新すべきです。

(PI）選挙におけるプロファイリングとマイクロターゲティングを懸念する理由

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-why-were-concerned-about-profiling-and-micro-targeting-elections_jp/

- データ主導の政治キャンペーンは目新しいものではないが、利用可能なデータの粒度や、そのデータを通じて有権者を動かしたり抑え込んだりする潜在的な力は、新しいものである。
- オンライン政治広告の背後には、複雑で不透明な企業エコシステムが存在する。データ分析会社やデジタルメディア会社は、選挙に参加する政党に直接委託され、オンラインキャンペーンを展開している。しかし、その詳細は不明確であり、これらの企業が誰のために、何を、どのように行っているかは、しばしば極秘とされている。
- 政党や政党が契約する企業がどのようにデータを収集し、使用しているかについては、もっと透明性を高める必要がある。
- データが生成された場合、個人はどの企業が自分に関するどのような種類のデータを保有しているかを知ることができるようにすべきである。

(PI) PI 、欧州評議会による政治キャンペーンにおける個人データ利用に関する新ガイドラインを歓迎

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-welcomes-new-guidelines-council-europe-use-personal-data-political-campaigns_jp/

「政治キャンペーンによる、および政治キャンペーンのための個人データの処理に関する個人の保護に関するガイドライン Guidelines on the Protection of Individuals with regard to the Processing of Personal Đata by and for Political Campaigns」

日本語機械翻訳版

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/wp-content/uploads/sites/2/2022/07/T-PĐ2021 3rev4Fin_Guidelines-Political-Campaigns.docx-ja.pdf

(PI) PI 、欧州評議会による政治キャンペーンにおける個人データ利用に関する新ガイドラインを歓迎

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-welcomes-new-guidelines-council-europe-use-personal-data-political-campaigns_jp/

ガイドライン

政治的キャンペーンにおける個人データの利用について、透明性の欠如、無償のデータ収集によるプライバシーへの影響、プロファイリング、メッセージ/広告のターゲティング（「マイクロターゲティング」と呼ばれるプロセス）などへの懸念に対処

経緯

政治キャンペーンにおいて個人データが果たす役割、データの乱用や搾取のリスクが世間の話題になったのは、2017年から2018年にかけて起きたケンブリッジ・アナリティカのスキャンダル

それ以来、デジタル選挙活動の非常に不透明なやり方に光を当てるための取り組みが相次ぐ。米国議会や欧州議会での公聴会、企業による実践規範、データ保護当局による調査などが行われている。

欧州連合は政治広告の透明性とターゲティングに関する法制化に動き、各国が法制化を採択するために検討中。本ガイドラインは、政治キャンペーンにおけるデータ利用を規制するこれらの取り組みの中心となるべきもの。

(PI) PI 、欧州評議会による政治キャンペーンにおける個人データ利用に関する新ガイドラインを歓迎

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-welcomes-new-guidelines-council-europe-use-personal-data-political-campaigns_jp/

ガイドラインの適用範囲

本ガイドラインでは、データが、選挙のみならず、政治的影響を与える目的で有権者や潜在的な有権者に関する個人データをより広範囲に処理する際に、中心となるものであることを認識している。また、本ガイドラインは、現代の民主主義国家における「恒常的なキャンペーン」の現実を認識し、選挙と選挙の間の期間にも適用されるべきであるとする。

さらに、このガイドラインは、政治キャンペーンがデータブローカーや、行動ターゲティング広告会社、ソーシャルメディアやメッセージングアプリケーションを含む分析およびマーケティングサービスを提供する企業に依存する傾向が強まっていることに対処しようとしている。

「有権者の大量プロファイリングと、ますます狭まる有権者カテゴリーへのマイクロターゲティングメッセージの配信は、フィルターバブルまたはエコーチェンバー(*)、有権者差別と選挙権剥奪、政治参加の抑制、分極化の増大、確固たる民主的議論の侵食、選挙の完全性の弱化を生み出しかねない」。

(*) フィルタバブルインターネットの検索サイトが提供するアルゴリズムが、各ユーザーが見たくないような情報を遮断する機能」（フィルター）のせいで、まるで「泡」（バブル）の中に包まれたように、自分が見たい情報しか見えなくなること。

(*) エコーチェンバー：電子掲示板やSNSの、自分と似た意見や思想を持った人々が集まる場にて、自分の意見や思想が肯定されることで、それらが正解であるかのごとく勘違いする[1]、又は価値観の似た者同士で交流・共感し合うことにより、特定の意見や思想が増幅する現象

(PI) PI 、欧州評議会による政治キャンペーンにおける個人データ利用に関する新ガイドラインを歓迎

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-welcomes-new-guidelines-council-europe-use-personal-data-political-campaigns_jp/

法的根拠とデータ共有

● データブローカーの役割 -- ガイドラインでは、「政治運動組織は、選挙やキャンペーンのために、データブローカーなどの第三者機関から個人データを取得し、特定の視聴者に向けてメッセージを発信することが多い」と指摘。

- 政治的意見に関するデータは、様々な情報源からの個人データの分析によって予測され、政治とは無関係な行動や 活動にも関連する可能性がある」
- 政党やその他の政治団体に、「データブローカーからのデータを利用する前に[…]データが合法的に取得されたことを確認する」適正評価を実施する責任を課す
- 政党やその他の組織が「自分たちに代わって個人データを処理する第三者機関が（データ保護義務を）遵守していることを証明する」こと。選挙監督機関から公式有権者名簿へのアクセスを法律で規制
- 法律で特に承認されない限り、公式有権者名簿の個人データを他のデータと組み合わせないこと

● ソーシャルメディアモニタリング -- ガイドラインは、「政治キャンペーンは、有権者のプロファイルを構築する目的で、ソーシャルメディアからデータを“スクレイピング“[本来とは異なる用途・形式などでデータを抽出すること]してはならない」と要求している。有権者が組織のメンバーであったり、ソーシャルメディア上で候補者や政党をフォローする意思を示したりした場合、選挙キャンペーンは、その人が候補者や政党からさらに連絡を受けることを希望していると合理的に推論するかもしれない。しかし、そのような推論は、例えば、その有権者のより広いソーシャルネットワーク内にいる可能性があり、連絡を受けることを明確に表明していない個人については、想定すべきでない」。

(PI) PI 、欧州評議会による政治キャンペーンにおける個人データ利用に関する新ガイドラインを歓迎

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-welcomes-new-guidelines-council-europe-use-personal-data-political-campaigns_jp/

法的根拠とデータ共有 (続)

- ジオロケーション (地理情報)

ジオロケーション・トラッキングまたはジオフェンシング -- ガイドラインは、これらのサービス (有権者の位置を特定するため、またはプロファイリングのために使用) が「適切な法的根拠に基づいてのみ展開されるべき」と要求。

サービスは、個々のユーザーのオプトイン [事業者がユーザーに広告メールを送信する前に許可を取ること] によってのみ有効化されるべきである。

地理位置情報、およびその他の位置情報追跡の仕組みは、デフォルトで利用できるようにすべきではない。

- 透明性

「政治団体が処理する個人データは、特に有権者を操る可能性を考慮し、公正かつ透明性のある方法で処理されなければならない」

デジタル広告についての勧告

「政治キャンペーン組織は、有権者に対し、特定のメッセージを目にする理由、そのメッセージの責任者、ターゲット化を防ぐための権利の行使方法に関する適切な情報、および、そのようなコミュニケーションの普及に使用されるあらゆるターゲット基準に関する情報を提供すべきである。デジタル上の政治広告の自動配信の文脈では、有権者は『なぜこの広告を見ているのか』を知る権利を持つべきだ」

また、一般的な透明性と監督当局の役割をサポートするために、「広告インプリント、ターゲティング基準、広告配信のタイミングと場所を含む、ソーシャルメディアプラットフォームが運営する政治広告のアーカイブを公開する」ことを提言。

(PI) オンライントラッキングから身を守るために

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-protect-yourself-online-tracking_jp/

朝はメールをチェックし、お気に入りのサイトをスクロールして最新情報をチェック。ランチタイムには、近所にできた新しいレストランに行ってみる。あまりのおいしさに、Instagramに食事の写真を投稿し、そのレストランをタグ付けします。夜には、空想にふけり、休暇に行くために航空券の値段をチェックします。

翌日には、そのレストランと同じようなレストランや、近くのレストラン、観光名所やホテルなどの広告が表示されるようになります。なぜこのようなことが起こるのでしょうか？あなたのオンライン活動は監視されているのですか？これは、オンライン広告業界（ AdTech ）の仕事であり、あなたの個人データを広告のターゲットとして使用するだけでなく、あなたがクリックし、移動し、話す場所を追跡しようとするデータハングリーエコシステムを供給しています。

(PI）オンライントラッキングから身を守るために

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-protect-yourself-online-tracking_jp/

あなたがオンラインで行うほぼすべてのことは、デジタル上の足跡を残します。あなたが訪問しているウェブサイトが、あなたがそのウェブサイトを訪問したという単純な事実など、あなたについて何かを知ることは理解できることではあります。しかし、あなたが利用するほとんどのオンラインサービスは、それがアプリ、ウェブサイト、スマートデバイスであろうとなんであろうと、これらの情報を自分たちのためだけに保持しているわけではありません。その裏側には、あなたが利用するサービスとは無関係の第三者がいて、さまざまな目的をもっています。

必要なものや機能的なもの（フォントを提供するサードパーティなど）もありますが、多くは、そもそもあなたが訪れたサイトとは関係なく、あなたに関する情報を収集することだけを目的として存在します。多くの場合、このデータは、あなたが興味を持ちやすい広告を提供する目的で収集されますが、いったん情報が収集され、あなたのオンライン・プロファイルに組み込まれると、あなたのコントロールの及ばないところに置かれ、何かに利用される可能性があります。これは、あなたがオンラインで用事を済ませている間に、小さなスパイが潜んでいて、あなたの特徴を注意深くメモし、その情報を販売したり共有したりすることだけを目的としているようなものです。

(PI) オンライントラッキングから身を守るために

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-protect-yourself-online-tracking_jp/

しかし、オンライントラッキングから身を守りつつ、この業界を混乱させるためにできることがいくつかあります。このガイドは、オンライン広告業界のトラッキングツールをブロックし、データ収集を阻止しながら、あなたを一意に特定し監視することを難しくし、より匿名でウェブをブラウズするのに役立つことでしょう。副次的な効果として、これらの手順を実行すると、広告をブロックすることでウェブ閲覧がよりスムーズになり、不要なコンテンツであなたのモバイルデータ通信量を消費することがなくなります（広告やトラッカーは、あなたのデータの最大50%を使用する可能性があります！）。

何より、これらのガイドに記載されている手順を踏むことは、目に見えないところで行われている搾取を阻止するための一歩を踏み出すことなのです。アドテクノロジー業界を完全に非効率にすることで、その慣行に不満を表明する方法なのです。広告やトラッカーをブロックすることは、工場の原料供給をブロックすることに等しく、これらの企業は、彼らが機能するために必要なデータポイントを手に入れられず、彼らの製品を無力化することができます。オンライン広告をブロックするために多くの人々がこのような手段を取ることは、最終的にアドテク業界がそのやり方を再考し、ユーザーのプライバシーと選択をより良く尊重し、個人データに依存しない製品を開発し提供することを余儀なくされるかもしれません[1]。

(PI) オンライントラッキングから身を守るために

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-protect-yourself-online-tracking_jp/

なぜこのようなことが起きるのか

オンライントラッキングは、過去数年にわたり法的な非難を浴びてきた業界に依存し、倫理的・法的な裏付けに疑問のある行為として広く行われています。トラッキングピクセルからフィンガープリンティングまで、オンライントラッキングやプロファイリングの方法は数多くあります。このトラッキングの通常の目的は、ターゲット広告を提供することですが、生成されたプロファイルは他の多くの目的に使用することができ、あなたが知らないうちにあなたについての決定を通知することができます（例えば、あなたが健康関連のウェブサイトを訪れた場合、あなたの保険料が上がるように）。

大まかに言って、一度あなたのデータが収集されると、それをコントロールすることはほとんどできません。

（参考）データエコシステムとは

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-why-were-concerned-about-profiling-and-micro-targeting-elections_jp/

データエコシステム「企業内のさまざまなファーストパーティーデータをセカンドパーティー（協業先の組織）やサードパーティー（協業先以外の外部組織）のデータと掛け合わせ、新たなビジネスモデルや収益モデルを創出すべく形成するステークホルダーの集合体を指す。「企業はデータエコシステムを通じて基幹系システムのデータやデジタルマーケティング／IoTのデータなど、自社が主体となって取得するデータのみを活用するのではなく、社外のプレイヤーが保有するデータを社内データと組み合わせ、複合的に活用するための仕組みとして、産業横断型データ取引基盤、情報銀行、『Data as a Service』などへの関心を急速に高めている」
https://japan.zdnet.com/article/35160160/

参考：喜連川優「ビッグデータの潮流とデータエコシステム」情報管理2013年 55巻 10号 p. 705-711

https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/55/10/55_705/_html/-char/ja/

(参考資料)

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-why-were-concerned-about-profiling-and-micro-targeting-elections_jp/

(PI) あなたのデータが政治的に利用されるとき

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-new-technologies-and-electoral-processes-online-campaigning-social-media-platforms_p/

PubliElectoralについて

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/publielectoral_jp/

(PI) データ搾取と政治的キャンペーン 企業資料

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-data-exploitation-and-political-campaigning-company-guide-resource_jp/

(PI) 報告書：政治キャンペーンにおけるマイクロターゲティング。法的枠組みの比較分析

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-micro-targeting-political-campaigns-comparative-analysis-legal-frameworks_jp/

（参考資料・続）

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-why-were-concerned-about-profiling-and-micro-targeting-elections_jp/

(PI) オンライン政治的広告 -- 透明性基準の不平等に関する研究

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-online-political-ads-study-inequality-transparency-standards_jp/

(PI) PIは、政治キャンペーンにおける個人データの利用について、早急な改革の必要性を強調する

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-highlights-need-urgent-reform-use-personal-data-political-campaigning_jp/

(PI) PI、欧州評議会による政治キャンペーンにおける個人データ利用に関する新ガイドラインを歓迎

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-welcomes-new-guidelines-council-europe-use-personal-data-political-campaigns_jp/

(PI) オンライントラッキングから身を守るために

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-protect-yourself-online-tracking_jp/

(PI) 移民・庇護権団体のためのプライバシー設定に関する手引き

https://www.alt-movements.org/no_more_capitalism/hankanshi-info/knowledge-base/pi-migrants-asylum-rights-organisations-privacy-settings_jp/